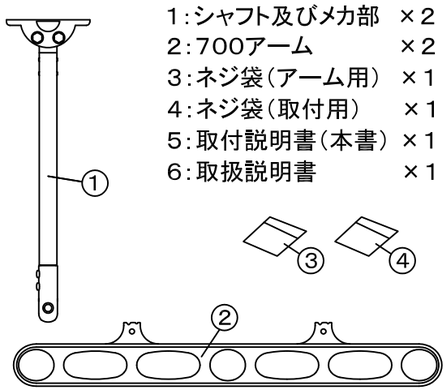
# ホスクリーン ZP－207型　取付説明書

⚠ 注意　取付けは、説明書に従い確実に行って下さい。（取付けに不備があると、落下等によるケガの原因となります。）

TM-0094-2

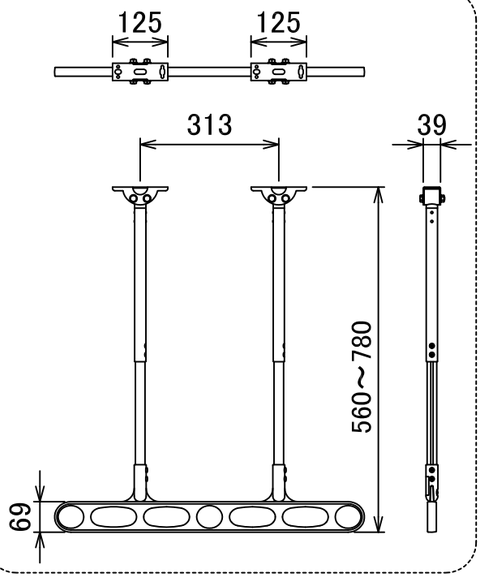
## 取付けの前に・・・

### ●梱包内容

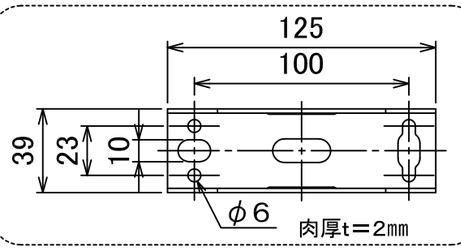



1：シャフト及びメカ部　×２
2：700アーム　×２
3：ネジ袋（アーム用）　×１
4：ネジ袋（取付用）　×１
5：取付説明書（本書）　×１
6：取扱説明書　×１

### ●製品寸法図

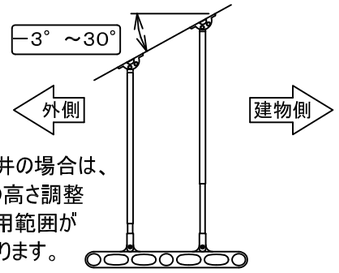



### ●製品取付ベース詳細寸法図



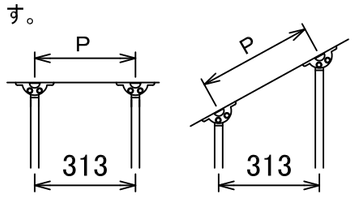

### ●角度調整範囲と取付の際の注意

**角度調整範囲**




㊟ 傾斜天井の場合は、ポールの高さ調整寸法適用範囲が少なくなります。

前後角を調整すると、傾斜天井面に沿った取付けピッチPが、下図のように大きくなります。

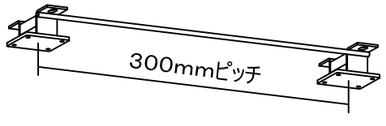



勾配ーピッチ表を参考にして下さい。

**勾配ーピッチ表**

| 勾配 | | P[mm] |
|---|---|---|
| 水平天井 | 0°00′ | 313 |
| 5分 | 2°50′ | 313 |
| 1寸 | 5°40′ | 315 |
| 1寸5分 | 8°30′ | 317 |
| 2寸 | 11°20′ | 319 |
| 2寸5分 | 14°00′ | 323 |
| 3寸 | 16°40′ | 327 |
| 3寸5分 | 19°20′ | 332 |
| 4寸 | 21°50′ | 337 |
| 4寸5分 | 24°10′ | 343 |
| 5寸 | 26°30′ | 350 |
| 5寸5分 | 28°50′ | 357 |

㊟ 300㎜ピッチのアンカーは、傾斜天井面には使えません）




300㎜ピッチのアンカーのインサートアンカーの例

## ◎本品付属のネジは木下地用です

下地、取付方法によっては、付属のネジ（φ5タッピング長さ50㎜）では対応できません。それぞれに応じたネジ類をお求め下さい。
（当社でも取付ネジを御用意しております。詳しくはカタログをご覧下さい。）

### 使用するネジ類（片側1本分。A・B・Cの内の一つ）

Ⓐ（木下地用）　φ8コーチスクリュー×4本
　　M8平座金×4ケ

Ⓑ（木下地、金属製垂木・構造材等用）　φ5タッピングネジ×8本
　　M5小形丸座金×8ヶ

Ⓒ（コンクリート用）　3／8W、又はM10ボルト×2本
　　ボルトに合わせた｛平座金×2ケ／バネ座金×2ケ

### 取付ネジの長さの決め方

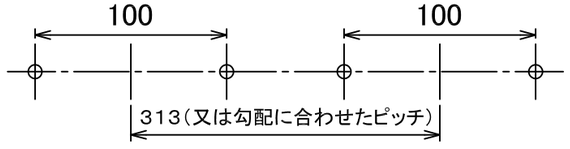
1：〔木下地〕
　ネジを効かせる木部に対して有効ネジ部が25㎜以上。

2：〔金属製垂木・構造材等〕
　取付ける金属板部に完全ネジ部が全てかかる。

3：〔コンクリート〕
　アンカーに合わせた長さ。（本体ベースの板厚は2㎜）

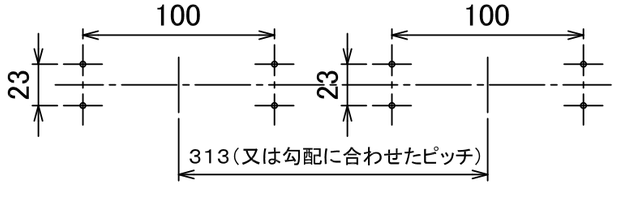
### 下穴の寸法

Ⓐφ8コーチスクリュー×4本の場合　　下穴径：φ6

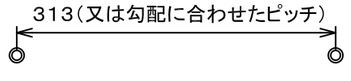



Ⓑφ5タッピングネジ×8本の場合

| 下穴径 | |
|---|---|
| | 木下地：φ3．5～3．8 |
| | 鉄　　：φ4．2～4．4 |
| | アルミ：φ3．9～4．1 |



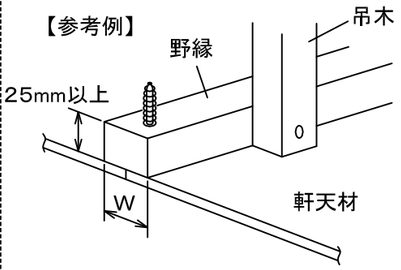

Ⓒインサートアンカーの場合




（水平天井に300㎜ピッチアンカー使用の場合は、そのまま使用して下さい）

### ●取付面の確認をして下さい。

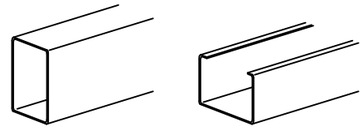
1：木下地




（1）野縁材が、取付ネジの締め付けにより、割れ・破損等を起こさせない幅Wであること。

（2）25㎜以上の高さがあり、且つ充分な強度があること。
（吊木があると安心です）

2：金属製垂木

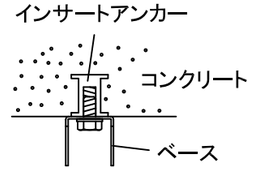


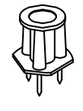
板厚が下記の通りであること。

・鉄の場合　　→板厚1．6㎜以上
・アルミの場合→板厚2．0㎜以上

3：コンクリート面

3／8W、又はM10ボルトを使用するインサートアンカーが埋め込まれていること。



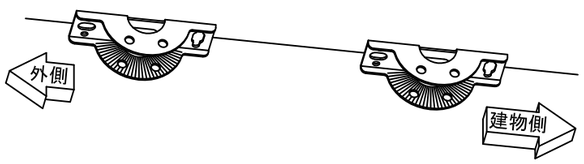
【インサートアンカー参考例】

※取付け方法は、裏面をご覧下さい。

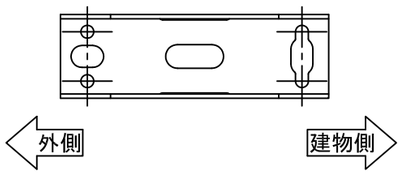
取付け方法

## 1 本体を取付ける

取付ける向きは、下図の通りです。



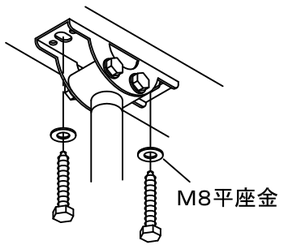

左図のベースの向いている方向




ベース取付穴の形に注意して、取付けて下さい。

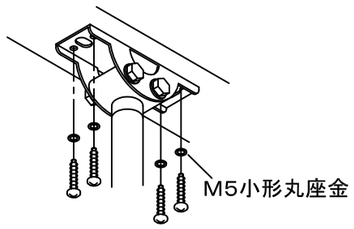
Ⓐ: φ8コーチスクリュー4本

下穴に合わせて、取付けて下さい。



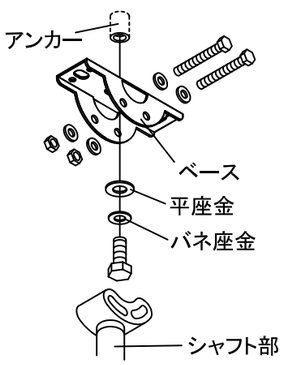

Ⓑ: φ5タッピングネジ8本

下穴に合わせて、取付けて下さい。

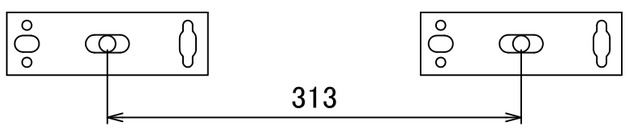



Ⓒ: M10ボルト、又は 3／8Wボルト } 2本

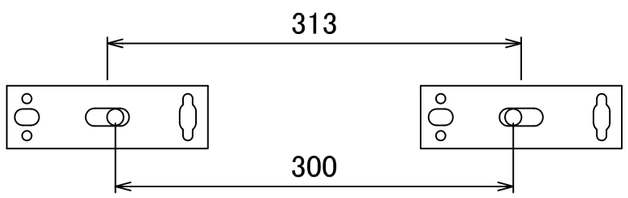
一旦、シャフト部を取り外します。
締め付けはボックスレンチ等を使用して下さい。




（1）単体アンカー2個使いの場合



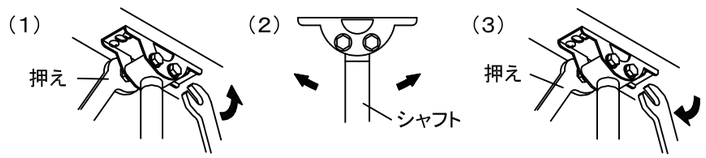

（2）300mmアンカーを使用した場合



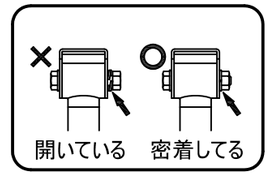

長孔を利用して、ベース中心間の距離が313mmになるように取付けます。

## 2 シャフトを垂直にする

M8×L50ボルトを2本とも抜かない程度に充分ゆるめ、
シャフトを垂直にした後、再び充分に締め付けて下さい。



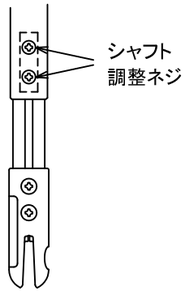

⚠ 注意！



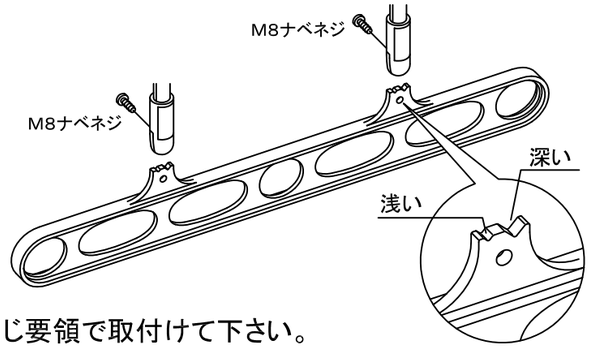

ボルトを締め付ける際には、挟んである
バネ座金が密着するまで確実に締め付けて下さい。シャフトの固定が出来ないばかりか、ボルトの緩みを生じさせ、危険です。

## 3 アームの取付け

シャフトに付いているシャフト調整ネジをゆるめて、シャフトを伸ばします。



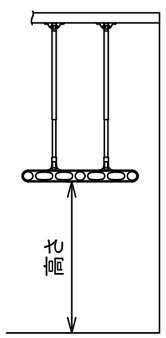

アーム取付部の形状をよく見て、付属のM8ネジで取付けて下さい。
（アームの向きが反対だと、取付け出来ません。）




※もう一本も同じ要領で取付けて下さい。

## 4 高さを調整する

シャフト調整ネジ（下右図）を緩め、アームの高さを調整した後、再びシャフト調整ネジを締め付け、完成です。




ココの長さを左右で同じにすると、簡単に対の高さを揃えることが出来ます。